

(様式第2号)

会 議 録

令和5年4月24日作成

会 議 の 名 称	令和4年度第2回 島本町環境保全審議会		
会 議 の 開 催 日 時	令和5年2月9日(木) 10時00分 ~ 12時00分		
会 議 の 開 催 場 所	役場3階 委員会室		
公 開 の 可 否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・一部不可・不可	傍 聴 者 数	6人
非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)			
出 席 者	委 員	生野 輝正、大西 義雄、金山 勉、厚東 隆、小山 登、田村 友宜、中桐 文余、樋口 浩行、深町 加津枝、藤澤 すなほ、藤田 一美、細川 勇夫 (敬称略・50音順)	
	事 務 局	都市創造部 部長 名越 誠治 次長 佐藤 成一 環境課 課長 三浦 了 参事 濱田 昌吾 係長 谷垣内 真一	
会 議 の 議 題	(1) 会長及び副会長の選出について (2) 島本町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について (3) その他		
決 定 事 項 等			
審 議 等 の 内 容	別紙の通り		
配 布 資 料	資料1 島本町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(区域施策編)(案) 資料2 島本町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(素案)に関するパブリックコメントの結果 参考資料 名簿、島本町環境保全審議会規則		

令和4年度 第2回 島本町環境保全審議会会議録

事務局	<p>それでは、案件に入らせていただきます。</p> <p>本来、この審議会につきましては、島本町環境保全審議会規則第 5 条第 1 項に「審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる」と規定されておりますことから、会長が議長に就任し、議事進行を行うものですが、皆様委員に就任されてから初めての会議となりますので会長、副会長の選任は事務局にて進行させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではレジュメに沿って進行させていただきます。まず案件 1 会長および副会長の選出についてご説明させていただきます。本審議会の会長および副会長の選出につきましては、島本町環境保全審議会規則第 4 条第 1 項に、「審議会に会長および副会長各 1 人を置き、委員の互選により定める」と規定されております。委員の皆様から何か会長副会長選任にあたりましてご意見等ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>事務局案があったらお示し願います。</p>
事務局	<p>ただいま事務局案についてのお尋ねがございました。事務局といたしましては、会長には前回の任期におきまして、副会長にご就任いただいております京都大学大学院地球環境学堂の深町委員に、また副会長は大阪公立大学大学院農学研究科の上田委員にお願いしたいと考えております。深町委員、上田委員のお二方におかれましては、環境に関する分野を専攻しておられて、事務局といたしましても、会長副会長に適任であると考えております。なお上田委員につきましては本日欠席されておりますが、あらかじめ副会長への就任についてご意向をお伺いしており、皆様からの異論ないようであれば副会長を引き受ける旨の内諾はいただいております。</p> <p>以上が事務局案でございますが、委員の皆様からご意見ご要望等ございましたらよろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございます。ただいま多数の委員から異議なしというご意見をいただきましたので、会長に深町委員、副会長に上田委員にご就任いただくということでよろしいでしょうか。ご異議ないようでございますので会長に深町委員。副会長に上田委員にご就任いただくことで決定いたしました。深町委員、上田委員におかれましては、2 年間どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは案件 2 の前に、会長および副会長が選出されたことから会長に議事を交代させていただきます。島本町環境保全審議会規則第 5 条第 1 項「審議会の会議は会長が招集し、会長がその議長となる」という規定に基づき、深町会長に議長として議事進行をお願いしたいと思います。深町会長、前の席までどうぞよろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは皆様に承認いただきましたので、これから司会進行等させていただきたいと思っております。</p>

	<p>島本町については皆様の方がよくご存知だと思いますし、行政等の方々からの色々な専門的な知識、あるいはご経験の中からお意見をいただき、また、島本町には素晴らしい環境があり、色々な市民活動、企業であるとか、農林水産業に関わられている方々の生活とかお仕事の場ってというような形でも環境はとても大事だと思いますので、ぜひよい議論をしていきたいと思います。</p> <p>では早速ですが、議事録にあります案件の二つ目、島本町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について、事務局の方からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日、傍聴希望の方が6名おられます。ご承認いただけますでしょうか。</p>
議長	<p>傍聴希望の方が6人おられますが、よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。では傍聴についてお願いします。</p> <p>はい。傍聴に来ていただきましてありがとうございます。</p> <p>傍聴者の皆様には、傍聴要領に従い円滑な会議運営にご協力いただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、案件2 島本町地球温暖化対策実行計画について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。それでは、案件2についてご説明させていただきます。</p> <p>この計画につきましては、昨年11月30日に開催いたしました、1回目の審議会において、概要をご説明させていただきましたが、新たに委員になられた方もおられますことから、改めて簡単にご説明させていただきます。地球温暖化対策の推進に関する法律第21条において、市町村が行う事務事業により排出される温室効果ガスを削減するための計画を策定することが定められており、大規模自治体にはそれに加え、その自治体の区域内で排出される温室効果ガスを削減するための施策に関する事項を定めることとされております。島本町のような小規模自治体においては、町域内で排出される温室効果ガスを削減するための施策に関する事項を定めることは努力義務となっておりますが、本町においても、これまでの行政だけの取り組みだけでなく、住民、事業者の皆様も含めた積極的な温暖化対策への取り組みを行う必要があるものと判断し、策定するものでございます。</p> <p>次に、本計画策定に係るこれまでの流れでございますが、昨年11月30日に開催いたしました第1回審議会におきまして、委員の皆様からのご意見をいただき、昨年12月14日から1月13日の間でパブリックコメントを実施いたしましたところ、資料2 島本町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)素案に関するパブリックコメントの結果でございます通り、16名の方から127のご意見をいただきました。</p> <p>その結果を踏まえ、計画案を取りまとめましたので、資料1の島本町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)案により説明させていただきます。修正箇所については赤色としている箇所が第1回審議会でのご意見を踏まえたもの、青色としている箇所がパブリックコメント</p>

でのご意見を踏まえたもの、緑色としている箇所がその他修正をしたものとしております。なお、説明に当たりましては、赤色と青色の部分を重点的に説明させていただき、緑色の部分については、主な変更箇所のみのご説明とさせていただきます。

まず 1 ページの第 1 章計画の基本的事項 1 計画策定の趣旨の下段にあります、気候変動の緩和策・適応策の関係についてご覧ください。こちらはパブリックコメントでのご意見を踏まえまして、気候変動による緩和策と適応策の関係がよりイメージしやすいよう、図を掲載いたしました。

続いて 3 ページ、4 計画の主体についてご覧ください。こちらは各主体の役割について、各主体の役割がイメージしやすいよう、図および説明を記載いたしました。

続いて 5 ページ、6 計画の構成についてご覧ください。こちら色の方はついておりませんが、パブリックコメントでのご意見を踏まえまして、削減目標達成に向けた取り組みである緩和策と気候変動への適応策との関係がよりイメージしやすいよう、全体像について記載いたしました。

続いて 12 ページ、第 2 章地球温暖化の国内外の動向 (2)地球温暖化の影響 ③島本町における影響 ア年平均値の推移の本町における日平均気温の経年変化についてご覧ください。こちらは図の左端にあります既存の単位についてより正確にグラフへ反映させるため 1 度から 0.5 度刻みで修正をいたしました。

続いて 14 ページ、2 地球温暖化対策の現状 ①パリ協定による枠組みの青文字の部分をご覧ください。こちらは地球温暖化対策を抑制するためには、産業革命前からの気温上昇を 1.5 度に抑え、また 2050 年ゼロカーボンを達成するためには 2030 年までの取り組みが重要であることから、内容を追記いたしました。

続いて 15 ページ、2 地球温暖化対策の現状 (1)国際的な動向 ②持続可能な開発目標について、こちらは環境・社会・経済との関係性がよりイメージしやすいよう SDGs の図および 17 の目標の説明について追記いたしました。

続いて 21 ページ、2 地球温暖化対策の現状 (2)国内外の動向、赤文字の部分をご覧ください。こちらは大阪府環境総合政策を大阪府環境総合計画に修正いたしました。

続いて 24 ページ、③島本町 オ シマとプラスチックスマート宣言の緑色部分をご覧ください。こちらは現在、本町において、使い捨てプラスチックの使用削減とマイボトルの持参促進を図るため、事業者と協定を締結し町有施設においてウォーターサーバーを設置していることから、その取り組み内容を追記いたしました。

続いて 27 ページ、第 3 章島本町の現状 1 島本町の地域特性 ④自然環境をご覧ください。こちらは、本町の自然環境が豊かであることについて、より詳しく紹介するため、新たにその内容を追記いたしました。

続いて 37 ページ、⑧再生可能エネルギーの導入状況の緑色の部分をご覧ください。こちらは環境省の自治体排出カルテに基づき区域の電力使用量、FIT 導入比を記載しておりましたが、温室効果ガス排出量の多い特定排出者の実績値を考慮するため、その実績を反映させた形で数値を修正いたしました。

続いて 62 ページ、第 4 章温室効果ガス排出量の削減目標 ②将来推計結果の上の温

室効果ガス排出量の将来推計結果および下のエネルギー消費量の将来推計結果についてご覧ください。こちらは当初 2030 年および 2050 年における推計値を記載しておりましたが、2050 年については、今後の情勢が大きく変化することも考えられることから、具体的な推計数値を記載することは困難と考え、2030 年の短期目標までの推計値の記載のみといたしました。

続いて 65 ページ、②国等と連携して進める各種エネルギー対策等による削減見込み量の青文字部分をご覧ください。こちらは削減目標を達成するべく、より積極的に取り組みを進める必要があることからその内容を追記いたしました。

続いて 66 ページ、赤色部分、特定排出者における削減見込み量、67 ページの②再生可能エネルギー導入量のエネルギー消費構成、また 68 ページ、③令和 10 年における温室効果ガス排出量、エネルギー消費量、温室効果ガス排出量の削減見込みの部分につきましては先ほどのご説明の通り、2050 年については今後の情勢も大きく変化することも考えられ、具体的な推計数値を記載することは困難と考え、2050 年の推計について削除し、2030 年の推計値のみの記載といたしました。

続いて 69 ページ、2 温室効果ガス排出量の削減目標 (1)短期目標の青文字部分をご覧ください。こちらは削減目標の達成に当たっては、住民・事業者・町の三者がより積極的に取り組みを行う必要があることから文言を追記いたしました。

続いて 71 ページ、3 再生可能エネルギーの導入目標の青文字部分をご覧ください。こちらについても地球温暖化対策をより積極的に取り組みを行う必要があることから、文言を追記いたしました。

続いて 72 ページ、第 5 章削減目標に向けた取り組み(緩和策) 2 目標達成に向けた取り組みの方向性についての青文字部分および 73 ページの将来ビジョンについてご覧ください。こちらは、本町の将来像をよりイメージしやすいよう、記載を追記いたしました。

続いて 76 ページ、②町の取り組み 家庭や事業所の省エネルギー化の推進の赤字部分をご覧ください。こちらは 2025 年に建築物省エネ改正法により、省エネ基準の適合義務が行われることから、より積極的に法改正の周知を図っていくため、追記をいたしました。

続きまして同ページの下段の赤字部分をご覧ください。こちらは脱炭素へ向けた中小企業の取り組みとして、文言を追記いたしました。

続いて 94 ページ、第 6 章気候変動への適応 3 気候変動に影響する適応策 町の取り組みの青文字部分をご覧ください。こちらは外来生物のみの記載だけでなく、その他の重要種等の内容について追記を行いました。

以上が第 1 回審議会およびパブリックコメントのご意見等を踏まえた修正内容となります。

今後につきましては、本審議会でのご意見を踏まえ、修正が必要となる箇所についてはさらに修正を行い、3 月末までに計画を策定し、あわせて一般の住民の皆様にも関心を持っていただけるよう概要版を作成いたします。なお、計画書および概要版ができあがりましたら、委員の皆様にご送付させていただきます。

以上簡単ではございますが、島本町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)についての

議長	<p>ご説明を終わらせていただきます。</p> <p>ご説明ありがとうございました。前回の審議会での議論を反映させるとともに、たくさんいただいたパブリックコメントについて、丁寧に対応するような形で案をまとめていただいたと思いますが、まだまだ皆様に見ていただき、お気づきの点等あると思いますので、ぜひご意見などをお伺いしたいと思います。</p>
委員	<p>たくさん知識のある方や前からやられている方の中で、初めて発言するのがおこがましいですが、素人目線として、多分、私が一番住民の方の感覚に近いと思います。私自身は 18 年前に荒れた生徒を連れて竹林のボランティアにきました。そこからずっと懂れていて、やっと 3 年前に引っ越してきた。ご近所の方に聞いたら、島本町愛が強い人ばっかりの集まりというのが分かり、その愛をこの地球温暖化防止に生かしたい。私はこの 1 時間少しで申し訳ないけど、いくら話し合ったところで町長さんが言われる 20 何%とか 50 何%には絶対行かないと思っており、三つの提案をするけども一番大きいのは、ここで終わりではなくて、もっとこまめに代表の方が持ち帰って話をしてもらい、また集まるのを何回も繰り返して、ここで発信したプロジェクトが「いやそんなんできへんで」とか、反対に持ち帰って、「いやこんなんもできるで」というのが絶対あると思うので、私からすると、年 2 回で何が決まるのかと。パブコメの結果は字が小さく、くじけそうになってしまったぐらい、これを読む人がどれだけいるのだろうか、書いた人はもちろん読むだろうけど、一般の人がどれだけ読んでどれだけ実行するか。私は 3 万人少しの住民の方全員が今日ここに来られている意識の高い方と同じぐらいの意識になったら、実行可能だと思っています。だから、ここで終わりにせず、小さな会議をすとか、持ち帰りができるとか、そういう仕組み作りをまずやってほしいというのが切なる願いです。素人の私が提案したことについて、それ何やろうと言われるのは当たり前であり、プロの方はそれぞれの持っている特性と知識と経験を生かして、できることが山のようにあると思います。それを全部同時進行でやったら島本すごい、日本でトップいってるんだとなれると思っています。何かその仕組み作りをこの 1 時間の中でまずそうしてほしいというのが切なる願いであり、私は多分このパブコメの意見者の代表で来ていると思っています。そうしてほしいと切に願っており、あとで時間なくなってそれができなくなったら怖いので、私は 3 万人やる気スタッフ化です。防止のためやったら動こうという人をどんどん増やすことが一番の速さであると思っています、それをどうにか先に決めて欲しいです。時間がなくなる前に。</p>
議長	<p>ありがとうございます。本当に言われるとおりで、年に数回の議論の中でこういう案を作って、計画を作ったとしても、その計画が実施されるかどうかが一番大事なところで、そのための色々な議論や仕組みというのは言われる通り不可欠だということを私も思います。</p> <p>色々な町としてのスケジュールやプロセスがあると思いますが、委員が言われたことは、本当に町に住む方々のお気持ちを代弁していただいていると思いますので、町としてどういう形で決めて、作りたいかということでしょうかね。スケジュールや考え方、その通りやるかどうか</p>

事務局	<p>かは別として、まず町がどのように考えているのかももう少し具体的にご説明お願いします。</p> <p>ご質問についてお答えさせていただきます。</p> <p>まずパブリックコメント結果について、字体が小さく見づらく申し訳ございません。今後は、A3 で印刷する等、検討してまいります。</p> <p>委員が言われました、計画は具体的な取り組みが実際に行われなければ、絵に描いた餅で全く意味がないというご質問ですが、現時点におきましては、審議会やパブリックコメントでのご意見を踏まえ、まずは計画を策定していく。何を行うにもその母体となる計画、指針がなければ実効性は伴いませんので。当然、審議会の 1 回 2 回で何か具体的な話を決めていくのは、やはり予算措置にも関わり、難しいものはございますが、まず計画を作った上で、次年度以降、どういった仕組みを作っていくのか。協力体制については、当然、我々行政だけではなく、住民、事業者の皆さんのご協力があって取組を進めていけるものと思っていますので、自治会や島本町の減量推進員、島本町の環境基本計画のプログラムを実行していただいている環境・未来ネット、事業者の皆様をお願いするにあたって、商工会の会長さん、皆様にどのような方法で、協力や周知を行っていくのかというのは、今後、その話をしながら決めていくとともに、具体的な取り組みに当たっての予算措置を行っていく必要があると思っています。以上でございます。</p>
議長	<p>今の答えに関して何かありますか。</p>
委員	<p>申し訳ないのですが、私はもう引退したから時間あるのですが、子育て中の忙しいお母さんには、こんな紙もらっても、やらないですよ。施策は賢い人が作ったらいいと思うが、自治会の人に来てもらい自治会の代表の方が次役員さんに言ってもらう。役員さんから自治会の住民に言う、回覧板で回してもらう家族に言う、この瞬間に 1 週間でするじゃないですか。簡単なことです。絵とかこんなんは難しすぎます。図でいいのです。</p> <p>自分で勝手に 1 ヶ月に 1 回、来月このメンバーで竹林に入って竹切りましようと思っています。これぐらいやったらできるわと思ったら、自治会の人に来てもらって竹切って炭作って配る。動いているのではと思ったら、もうそれだけで住民はかなり変わると思います。</p> <p>もう 1 個の提案はオーガニック給食を進めてほしいです。これで田んぼも守られる、うちの子いいもの食べさせてもらえると思ったお母さんも賛同得られると思います。だから、やってみればいいと思います。施策を決めるのも必要やけど、もういいこと分かっているじゃないですか。それから島本町だからこそできることあると思います。田んぼ、畑が多いじゃないですか。それから山が荒れているのを皆さんすごい気にされており、筍農家がゼロになったっていうのも聞いているし、もうこれから良くなるはずがない、それなのに今から指針を作って、今から書類までいじるのかと私は思っていて、よく似た書類の一意を変わったところで何も変わらないから、もう即やれることを 1 個でも 2 個でもこのメンバーでやれそうなお金がかからないことで動いてくれそうな人、パブコメの 10 人は絶対来てくれるでしょう、なのでパブコメの人を呼ぶ。傍聴の人絶対来てくれるでしょう。これで 16 人。このメンバーだけでも</p>

議長	<p>4、50人位いているじゃないですか、これで竹切ったらどうですか。すごく荒れていて学校で授業きちんと受けていなかった子ですら竹を切っています。水無瀬川で遊んでその後、学校で荒れなくなったのです。なので、もうやるのみです。また、会議増やしたところで、多分、何も変わらないと思う。</p> <p>今、言われたことは私もいつも思っていることと共通するので、気持ちは本当によくわかる、本当にすぐにでも動いてやること、それから、そういうことをするための大きな受け皿や枠組みを作るということを両方やらないと町の人も動きにくいですし、色々な人にお話する上でも、やはりその土台を作るのがこの実行計画なので、非常に抽象的な部分が多いと思いますが、これがあると、例えば色々な環境省から助成金をいただくとか、この計画、このやっていることがどういうことに基づいてやっているのかと疑問に持たれる方に対しても、きちんと町が決めた、こういうお声に代表の方がきちんと集まって決めた方向性なんですよ、色々な考えがあるので、やっぱり礎となるような考え方とか方向はやはり示さないといけないので、本当にお気持ちはよくわかるのですが、ここでやはり決めておかないと、次のためのステップだと思います。</p>
委員	<p>わかりました、決めましょう。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>決めながら実行案も決めていくということですか。</p>
議長	<p>そうです。</p>
委員	<p>実際にまた修正していくのと、回数をとにかく年に1回とかやめてください、</p>
議長	<p>そうですね、町の方とご相談が必要なのですが、こういうふうな公式で何か決める議会とかでもそうだと思うのですが、大事なことをしっかりと議論して決め、それに基づいてたくさんを同時並行でやっていくような具体的な部分を、ぜひと思うんですね。そういう場として町の方々にしっかり作っていただければと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。その方がいいと思います。</p>
議長	<p>そうですね、そういうのをきちんと作った方がいいと思います。大阪府の方にも色々協力してもらいましょう。</p>
委員	<p>私ばかり喋っていいのですか。先ほど言った竹林の整備、オーガニック給食の二つ提案したいです。あと最後に言っていたような、3万人スタッフ化です。全員本気になって島本住</p>

	<p>民が動いてもらうための仕組み作りの三つです。</p>
議長	<p>了解です。それはしっかり議事録に残してください。皆さん色々な方のご意見も一緒に聞いて、それで全体の方向をそれぞれの皆さん、ご活躍をされている方なので、どうでしょう、どなたか。はい、お願いいたします。</p>
委員	<p>今、言われたように、この会議に臨むにあたって色々どういうふうに発言したらいいのかかなり悩んでいました。それは進行がどうなるかということもあるのですが。一つはこの実行計画、パブコメを事前にいただきまして、この計画に対する色々な突っ込みどころというのは確かにいっぱいあります。それをやるので結構時間もあるのかなということと、他の委員さんもそうだと思うのですが、この計画を少し置いて色々なアイデア、こんなこともあんなこともできる、こんなことやったらいいよということをランダムに言っていくのも、そういう流れになるのかなと。どっちがいいのかなと。でもまずこれも突っ込みたいと。</p>
議長	<p>そうですね。まずこれに突っ込んでいただく、ある意味プロセスの大事な一つだと思っていただき、これで終わりではないです。ただこれを見ると、教科書のような形で町としてどのようにこれから温暖化対策をしていくのだろうかという道筋がわかるということに関して抜けているものがないか、間違っているところがないかとか、そういう観点でチェックいただいて、次の具体的な色々なことができるというような形で考えるとしたときに何か大切な文言が抜けてないか、そのあたりぜひご確認いただきたいと思います。</p>
委員	<p>それでは、51%削減とか大きな目標として出ているので。</p>
議長	<p>何ページ見たらいいですか。</p>
委員	<p>69 ページ。51%削減のところは、温室効果ガス排出量の削減目標の根拠が、その前の何10 ページか 20 ページかにわたって延々とあって、この 51%という数字が出ている。この根拠が非常に分かりにくいのですが、これをかみ砕いて色々分かりやすくすると、ページが増える。誰がそんなのを読むのか。かといって簡単にし過ぎても何で 51%なのか分からないので、すごく悩ましいと思うのですが、私が感じたところでいくつか言うと、パブコメにもありますが、町単独の考え方はないのか。例えば、この推計を出すにあたって、REPOS のデータ、二酸化炭素排出係数、64 ページにあります。そういったものが国の計画で出ていると。そういった外部的な色々な指針やパラメータによってこの導き出されて、島本町としては、そしたら、その独自性はどうかというのが、いくつかパブリックコメントにもあったのです。その辺は何か出されないのかなと。先ほどもありましたが、例えば島本町では山がたくさんあり、竹林とかあります。そういったことを例えばバイオエネルギーとして使えるかどうか、この実現性は今わかりませんが、加味した上での目標にするみたいところで、少し島本らしさというのをどこかで入れられないのかと思います。</p>

	<p>あと再生可能エネルギーポテンシャル量、66 ページにあります。この REPOS のデータを見ますと、この注にも載っていますが、これ最終的にはほとんどの建物に太陽光パネルを付けると。田畑の上にも太陽光パネルをつけると。それで 261.6 まで行くというのがそういう目標をもとに 51%に決めていき、何か現実性が。今の時点で否定的になるのはよくないかもしれないですが、どうなのかなというのがあります。REPOS のデータを見ますと、例えばポンポン山や釈迦岳の辺で風が吹いているから風力発電できると。これを立てたらいいんですが、そのようなことがどうなんかつか。あとは太陽光に関しては、ポテンシャルとして、やはりマンションより戸建ての方がポテンシャルあるみたいです。REPOS のサイト見ますと。なぜかと言ったらマンションというのは 200 戸とか 300 戸とか、大きいのは、例えばグランリバーやったら 500 戸ぐらいあると思うのですが、上に太陽光パネルをつけてその下にたくさんの方が住んでますでしょ。でも戸建ての場合、せいぜい 4 人家族とか、その上に太陽光パネル付けると効率がいいというのが多分反映されていると思うので、あんまり高いマンションで太陽光パネルつけても人口比に対して効果が薄いというようなシミュレーションにどうしてもなっているような感じがします。あんまり細かいことまで書いてないのですが。あとはやっぱり田畑の上に太陽光パネルをつけるというようなことも想定されているようなので、そういった事例がまだあんまりないのです。国でもそういうパネルをつけて農業もできますというような事業は確かにやっておられますが、本当に今始まったばかりで、そういったことがこれからどうなのかということも勘案して、この 51%はそういった前提というのがある、未来に対する色々な課題も含めた上での 51%というのがどうなのかつと書いてほしいなど。今から見たらなんか夢物語というか、ほんまにみんな太陽光パネルで埋め尽くすのだと、それは例えばそれに対する副作用とか、きっとあると思うのですが、その辺が書けば書くほど分厚くなるのですが、そういうふうにし少し思いました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。大変重いご指摘だと思います。この 51%の削減というのが、国や府の動向も踏まえながら、計画が作られていると思うのですが、島本らしさだと、実際この 51%を達成する前提を具体的に見てみたら、本当にこういう町作りでいいのかなというところです。例えば太陽光パネルにしても、田畑まで全部可能なところ太陽光パネルが覆っているような、それを皆さんが本当に望んでいるのかというところですね。そういうのが目に見えてくると、今言っていた竹林を整備するとか、農林業をしっかりやっていくとか、そういうことでの削減の方法を考えたとき、この数字は少し減るかもしれないですが、本当に町にとっていい方向になるかもしれないというところを町で提案されているところの具体的なまち作りに関わるイメージや方向性というのをもう少し見える化し、資料では少し伝わりにくいところも多いと思うので、何らかの工夫ができないかというところだと思います。</p>
事務局	<p>ご質問についてですが、ここに書いています全体として 51%の削減率、その内訳として、その国の計画による電気の二酸化炭素排出係数の低減ですとか、あとは再エネポテンシャル最大限導入した場合の削減率ですとか、一見ちょっとこの内訳を見ると、町のその具体的なところが見えないというところですが、国等々と連携しているところでも、国と書いていま</p>

	<p>すが、当然連携しながら島本町としての取り組みでもあるというのがありますし、再エネポテンシャルのところでも、あくまでもその導入量としてこれだけ入れた場合にはこれだけの電力量をまかなえますよ、っていう、あくまでもその削減率を示すときの一つのちょっと目安で記載させていただいており、その具体的な取り組みというのは、計画の5章のところ盛り込ませていただいて、そこで決めていきたいと思っておりますが、具体性がなく少し分かりにくいところは精査していく必要があるのではと考えております。以上でございます。</p>
委員	<p>66 ページの畑に太陽光発電、かなり抵抗あります。聞いたとき。今よくやられているのは、2階建てで下には農作物を植える、一応高さを2mから3mの高さで下に野菜を植える。そういうことをやられてますも、私はそういうことなのかなと理解したのですが、全ての農地をそのようにすることによりかなり抵抗があります。</p>
議長	<p>やはり相当いろいろ工夫して、場所ごとに丁寧な検討が必要です。そういうところも踏まえて、お願いします。今の農地に関連しての具体的な対応みたいなどころで。</p>
事務局	<p>島本町でも農地がたくさんありますが、確かにその農地の下で野菜を作って上で太陽光パネルを設置すると、土地を有効活用する部分で大変いい取り組みだと思います。ただ、開発が進むにあたって、例えば土砂の危険性、環境面、生態系の問題など出てきている自治体もあると聞いておりますので、今後そういった影響も踏まえながら、設置が可能かどうか、行政だけではなく住民の皆様とともに取り組んでいくものですので、その辺を具体的にこれから検討協議していければと考えております。以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p>
事務局	<p>議長、ここで休憩を入れたいと思います。</p>
議長	<p>せっかく手を挙げていただいているので、ご意見を伺ってからでいいですか。</p>
委員	<p>私、常々思っているのですが、色々な物の再利用、リユースということで進めているのですが、住宅が一番、廃材の処理等、CO2の発生、資源の問題等があると思います。今、町内を見ても空き家がだいぶ出てきていると思います。高齢化に伴い、いい住宅がそのままの状態になっているので、住宅リフォームや貸家にし、色々難しい問題あると思いますが、そういったところの再利用をしていくことを進めていただければと思います。</p> <p>それと、一つ令和6年から税制において、住宅ローン控除が大きく変わります。いわゆる認定住宅、ZEH住宅、省エネ住宅以外の住宅については住宅ローン控除を適用しないというような国の政策施策です。これを見たら、いわゆるゼロコロナのためにということが出てきています。例えば東京都だったら新築の家に、太陽光パネル付けるとかそういう動きがありますので、やはり町においてもそのような促進ということから税制面や補助金等を考えて</p>

	<p>いただければ、住宅というものがやはり大きな衣食住の中でも大きなものですから、そのような施策を国、府などと連携して進めていただければと思っています。</p>
議長	<p>そうですね、言われるとおり、住宅に対しての色々な仕組みも含めた対応ということですね。返答をお願いします。</p>
事務局	<p>建築物というのは先ほど言われた令和 6 年、2025 年に建築物の省エネ法が改正されるということで、今まででしたら確か 300 平米以上の建物については、省エネの適応基準を満たす必要があったのですが、その 300 平米の基準がなくなることで、全体的な部分で浸透していくとは聞いていますので、先ほどの税制面の話など、すごくいい取り組み内容だと思いますが、まず制度が変わる、法改正がされるというところをしっかりと周知等を図ってまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
議長	<p>貴重なご指摘ありがとうございました。それでは休憩を取らせていただきたいと思いますので、10 分後にお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは 11 時 5 分までには着席のほどよろしくをお願いいたします。</p> <p>(休憩)</p>
議長	<p>ではよろしいでしょうか。再開させていただこうと思います。</p> <p>色々ご意見言っていただきましたが、せっかくなので、お 1 人 1 回は発言していただきたいと思いますので、もしよろしければどうでしょう。どちらからの順番でもいいのですが、あるいはもう手挙げていただいてもいいのですがどうでしょうか。</p>
委員	<p>はい、資料を用意しておりますので、短めに説明しますので、資料配布させてもらっていいですか資料。</p>
議長	<p>配布してください。</p>
委員	<p>その間にひとつ、気になるのが 24 ページです。しまもとプラスチックスマート宣言ということで。</p>
議長	<p>24 ページですね。</p>
委員	<p>3 行目の最後に深刻なダメージを与えているということを書いていて、ここに環境、海洋環境や生物には確かに色々なダメージを与えていると思うのですが、いずれ私達人間にもそういうダメージを受ける可能性がある、マイクロプラスチックなどは言われていますし、し</p>

	<p>かも最近海洋汚染、川もそうかも分かりませんが、そのプラスチックに入っている可塑剤と添加物がどうなるのかという。環境ホルモンとかいう言葉も昔言われたことあるんで、そういったことに触れていただければいいのではと思いますが、いかがでしょうか。</p>
議長	<p>ではまずこれについてはお答えいただけますか。</p>
事務局	<p>ご質問の件ですが、生物というのはいわゆる昆虫、魚等だけでなく、人類にも回り回って最終的にはマイクロプラスチックの影響がありますので、盛り込めるかどうか精査してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>大事な指摘をありがとうございます。私もそれもらっていいですかね。数が足りないですか。</p>
委員	<p>いやあります。2枚余っています。</p>
議長	<p>これを、配布資料を見ながら、ありがとうございます。</p>
委員	<p>すいません、先ほど言いましたオーガニック給食を進めてほしいと思ったのは、1月の末に泉大津の市長さんと環境活動家の谷口さんという、結構有名な方の講演会に行ったからです。そこで谷口さんがオーガニック進めたら土壌に炭素蓄積もできるし、CO2の300倍の一酸化二窒素も化学肥料使用しないから削減できるという話を聞いて、オーガニックいいなど。田畑はやられる方々は大変やと思うので、給食で先が決まっていれば必ず買ってもらえるのが分かれば作れると思います。でもオーガニックでやるのがどんなに大変かは、何回も勉強会など行っているのだから分かっていて、安定して作物を作るのは難しいというの。私は島本に貢献したいと思い広報に載っていた方のお米を買っています。それから障害者作業所の野菜も買っていますが、広報に載った瞬間に売り切れて手に入らないです。ということはオーガニックの需要は必ずあると思っています。運搬の費用も減るし、今資料を配布したように、私もこれまで学校の教師をしていて、なんでこんなに発達障害の子が増えているのかなと思ったら、ネオニコチノイドという農薬がすごい影響している。オーガニック給食をなぜするのかということ、めだかの学校の理事長さんが言っていますが、1週間やっただけで65%排出できて一ヶ月やったら94%、そのネオニコチノイドとか毒素が全部出る。だから、先ほどのプラスチックの話にもありましたが、体の中の毒素の部分を排出する作用があると思う。もちろん考えていけない部分もあると思うのですが、だからオーガニックにすることで田畑も保全できる。オーガニック給食やることで、その子供たちのことも考えているし、環境の保全もできるし、CO2もあれでできるし、先ほど言ったように、いずれは自分の体に戻ってくる。では農家さんだけ頑張ったらいいのかと言ったら、農家さんが大変なことも分かっているの、その先がないと言っていました、出荷する先が。そこを行政と町の人たちが支えていくことで、広がっているらしく、韓国ではソウルで全部の小学校でオーガニック</p>

	<p>にして広がって、農家を若い人もやるようになってきている。私が行った泉大津は農地がないそうです。農地がないのでどうしているのかというと市長さん自ら全国回ってオーガニックのところを探し、休耕田も田畑に戻ったと言っていたので、日本を変えることはできと思っています。前に住んでいた摂津市は最初減農薬でやる、ジャガイモと玉ねぎだけやる。茨木市はゴマだけやる。一品でいいと思うのです、今化学肥料を使っはるところも、とりあえず肥料はそのままにして、無農薬だけでやってみるとか、それから回数減らしてみるとか、それから 1 箇所だけここだけ不耕起でやってみるとか、何か全部変えろと言われても大変なこと分かっているから、何か一個だけやってもらえるようなことを私は一つ提案します。</p>
議長	<p>ありがとうございます。オーガニック給食に向けて取り組みを行っていく等、そういう形でやっていくと今言われていたプロセスで。</p>
委員	<p>すぐできることは、この米を給食に使ってほしいです。</p>
議長	<p>そうですね、大変いいご提案をいただいたので、いくつかまとめてお聞きして事務局にまとめてお答えしていただこうと思います。今言っていたオーガニック給食への取り組みですね、まず一つ目。</p>
委員	<p>始まっていきなり住民委員の方から強いご提案があったのを聞いて、島本町の資源だなというように思いました。人とか、何かその思いがあるっていうのが変えていくのに何よりも大事だと思いますので、大事にしたらいいいのかなと思いました。</p> <p>あと色々な環境の取り組みを事業の中で行っているのですが、やはり楽しくする、仲間をつくる、知り合いになる、友達になるみたいなことがすごく大事だと思うので、お互い色々思いはあると思いますが、頑張っってやっっていけるといいのかなと思っいます。</p> <p>あと、私今日初めて島本町に来ましたが、結構大企業さんがありますね。先ほどの資料の中にも企業の取り組みのことが入っていましたが、例えば色々な事業をして巻き込んでいく中で企業はやはり何か環境の取り組みを表に見えるような形でしたいと思っっていると思うので、そのあたりの人ですね、協力してもらえないかというのは、意味があるのではないかなと思っいました。</p>
議長	<p>そうですね、企業の方々とも連携して。</p>
委員	<p>これだけ言っていいですか。駅前の前にあるヒメボタルの森、サントリーとか小野薬品に買っしてほしいです。</p>
議長	<p>なるほどそうですね。はい具体的な名前が出てきました。 お気づきの点とかありますか。</p>

委員	<p>冒頭申しあげたように地下水利用云々の立場で出席しているのですが、実際には私、企業人ですので、今お話出ているような、もう少しアピールするような姿勢もいるのかなと思っております。実際、お金のある企業もあれば、内情が苦しい会社もあると思いますが、企業としてやはり取り組むべきことがもう少しあるかなと感じました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。やはり企業との連携というのはすごく大事なことで、まさにそのことについても企業の色々な事情も考えながら、できることからご協力いただくと。そういった文言は入っていましたか。企業に関連して、企業との連携、企業の方々にも積極的に。</p>
事務局	<p>この区域施策編というのは行政だけでなく住民、企業の三者協働で取り組んで行きますということで明記させていただいています。</p>
議長	<p>今後、より具体的にどのように連携するのか考えていただく。それからオーガニック給食のことについても、どうやって具体的にやられるのかご検討いただければと。</p>
事務局	<p>ご質問についてですが、オーガニック給食ということで、無農薬、体に優しい野菜を給食で使うことを言われているように健康面で良いとか、農業振興により CO2 の削減にも繋がっていくというご視点だと思います。あとは地産地消ではなくて、遠方から野菜などを買う場合、当然、トラックがスーパーまで運ぶ必要があるので、CO2 がそこで発生します。重要な視点だと思いますが、一方で例えば、島本町内のその農家さんにおいて一体どれだけの供給量があるのか。第 1 小学校から第 4 小学校、中学校もございますがそれを賄えるのか。賄えない場合、町外から、先ほど泉大津市の例を言われたと思いますが、町外から購入して、そういったオーガニック野菜を取り入れていくことも考えられますが、やはり農家さんとの協力体制、冒頭でお話ありましたように、仕組み作りがまずは重要になってきますので、それをどこまでできるのか、何を優先していくのか考えていかなければならないと思います。今後そのような視点も踏まえ検討・協議してまいりたいと思います。以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。もしお気づきの点があれば、何かありますか。</p>
委員	<p>森林整備をずっとやってきていますが、現状は竹の進出がすごく、その切った後の竹の始末ですね、結局その場に積んで置いておくと、4、5 年もあれば腐っていきます。山の中を見ていると、その腐った竹により沢が詰まっているのが現状です。用はそれの処理ですね。それなんとか考えてもらわないと。</p> <p>やはり島本町としての支援が必要では。後処理の方法、それをどうしていけばいいのかな。</p> <p>それが大雨とか降って下のほうに流されていく。やっぱりこういう形になって、被害が発生する可能性がある。</p>

議長	<p>ありがとうございます。やはり島本町らしい取り組みを考えたときに、竹林をどうしていくのかすごく大事なテーマになるかなと改めて思いましたし、そのことが水質や色々な資源の循環的な利用とかに結びついていくと思いますので、ぜひ何か具体的な一つのテーマを考えたときに、竹林というキーワードをぜひ町の方で検討してみてもいいかなと思います。</p> <p>いかがでしょうか。何かコメントはありませんか。</p>
委員	<p>竹林をどうするのかは、私の意見と重なるので。私 18 年前に島本町に行った時からずっと気になっていて、環境活動している人に聞いたら、これぐらいの木を鉄の枠に放り込んでいくだけで、竹炭たくさん簡単にできるのですよ。竹炭はたくさん使用方法があって上に乗せたら除草剤にもなるし、鋤き込んだら肥料になるし、ご飯にも使えるし、お風呂に使えるし、粉塵したらどうなるかと思うんですが、まだ機械が最近なかなか手に入らないと言っていました、多分手に入るともうそんな高なくて、だからこのようにしたらもっと使える道あって、私は新庁舎の壁を全部竹にしたいと思っています。住民が切った竹で先ほどの太陽光発電で街を埋め尽くすのでなくて、切った竹で街を埋め尽くしてほしいです。塀とか、あの場所とかその内装とかも全部竹でやってほしいです。</p>
議長	<p>ぜひ、そういう具体的な提案も含めて、今後連携して、取り組んでいただく。ここではそれ以上のことは議論できないと思いますので。</p> <p>次行っていいですか。</p>
委員	<p>島本町として温暖化対策実行計画というのは、大切なことなので、今言われているように、やはり住民のベクトルを合わさないといけない。みんなでベクトルを合わせて進んでいきましょう。これは大切だと思います。実際、それを具体的にどうやっていくかと。そこはどの計画でも皆欠けています。やはりそれをどう実行していくかということが大事ですが、それは住民、企業さんなど、そういう人たちを頼り、その中で中期計画的なものを作られるんですよ。作られる中で私の考えは、島本町はまずは水ですよ。府唯一の名水百選が水無瀬離宮で出ていると、要はこれを守らないといけません。絶対的に。それからやっぱり緑。町の 6 割以上 7 割近くが山林なのです。非常に美しい緑があると。この二つは、絶対的に守る。水緑を守る、空気を守るというのは、人間が生きる上で一番大切なのです。それを具体的に島本町独特でいいものの、こういう環境をやっていくんだということを決められて、それを住民の皆さんにお願いして、前へ進んでいくと。そういう計画でやったらどうなのかなと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。今、本当大事なことを言っていて、島本町らしさということで、水と緑、そういうものをうまく生かし、またその辺をどのように反映できるかまとめてご回答いただきたいと思います。</p>
委員	<p>それを使って観光にしたらいいと思います。ミニマラソンですごい人集まったみたいに。JR と阪急通っているのは島本だけじゃないですか。周遊券みたいな作って、ふれあいセ</p>

	ンター、水無瀬神宮、サントリー、まちとヒメボタルとか周って、人を呼ぶ。環境をアピールする。
議長	観光というのも確かに大事なことだと思います。
委員	こんなん観光名所でしょ。もったいなすぎです。整備してください。
議長	そうですよね、これだけ揃っているわけです。ありがとうございます。
委員	先ほどオーガニックのことを言われたので、私も農業をやっているのと言っておくと、日本は自給率カロリーベースで 30%ないです。だから3カ月ほど生きたら、あと死ななあかんていうね、輸入がなかったら。島本町はそれ以下です。農地はそれだけ少ないです。今は人口が多いので。だから 4、5 年前調べたときでも、年間、島本町の作物をカロリーベースで食べられるのは 5000 人を割ったと思います。僕の計算では。もう 4、5 年前の話ですから。確かにこのオーガニックはいいと思いますが、そうなるの外から入れてもらう必要がある。島本町の農家の皆さんに、これをやってと言っても、やはりなかなか技術が要ります。簡単にできないし、投資もしないかんし、なかなか島本町の一軒の耕作面積というのが 30 アール未満で非常に小さいので、なかなか生産性が悪く無理です。まずその人たちは、地産地消目的で自分のとれたところで食べるというのが健康上いいと昔から言われていますので、それを今進めていますから、オーガニックを進めるとそのへんがうまく調整をしないことにはできないんです。そういうことも含めて、確かにオーガニック、地産地消もいいことなのですよ。みんないいことばかりなのですが、それを一度にやろうと思ってもできないこともあるということを考えてやっていただきたいなと思います。
委員	茨木はゴマだけしてはりました。
委員	そうでしょう。
委員	なので、米だけとか、一品だけ。
議長	ぜひそういう農業の色々な状況も聞いていただきながら、できることで取り組んでいただければと思います。
委員	言われていることは分かりますが。実際は。
委員	実際どれだけやれるかというね。でもやるだけで意識変わると思うので。一品入れるだけで。

委員	農家のみなさんのご協力が得られるかどうか。
議長	ぜひご協力いただきながら、また。はい。次お願いします。
委員	どうしようかな。これちょっと見てきたやつがあるんで、これは後で事務局へ。
議長	それもぜひ直接言っていたらいい、大事なポイントだけ。丁寧に見ていただきありがとうございます。
委員	<p>例えば 27 ページ、これ自然環境のことを書いていただいています、温暖化の影響事例みたいなのがあれば。そういうのを載せていただいたほうがいいのでは。先ほどから色々出ていますが、森林竹林整備のあり方。これ昔、課題となっていますと書いてますが、実際、具体的にもう少し書いた方がいいかなと思います。台風でだいぶやられたのですが、この処理もまだ終わっていませんから。この辺もどのようにしたらいいのか。その辺を少し触れた方がいいと思います。</p> <p>先ほど言われたように、自給率の問題。これを 1 次産業のどこに入れるかどうか。これはいくら町内で削減しても外からその CO2 を持ち込んだら意味ないです。その辺も少し何か触れてもらったほうがいいかなと思います。</p> <p>それと電力の話もかなり出ていますが、例えば太陽光発電のパネルですね。これが何年持ってどうなのか、そのバランスの問題で、どっちがどう進めるのが一番いいのか。ほとんど今のパネルは中国から来ています。だからそういう問題もあって、そう簡単には太陽光発電がいいですよとは言えない。今私、別なところで関わっているのですが、農地山林に太陽光発電を大規模に作るということを三重県でやっているのですが、それについても、実際に山を削って、木を切り倒してやっていいのかどうか。そういう問題もあるので、その辺も少し仕分けしながら考えた方がいいかなという気がしました。</p> <p>だから先ほどから言われているように、やはり竹林整備、放置竹林は、地権者の問題もあるので、そう簡単にはいかないとは思いますが、その辺うまく、ボランティア、企業とか絡んでやって体制の確立をしないと。いくらやりましようと言っても、地権者の方が嫌だと言われたらそれで終わりですから。その辺のうまい仕組み作り、これはやはりぜひやっていただきたいと思います。とりあえず、ちょっと気になったところだけ。</p>
議長	ありがとうございます、本当に丁寧に見ていただいて。ご指摘いただいたように、やはり一見よさそうなことでも、例えば太陽光、トータルでみたらどうかとか、いろんなこういう、ここで良くて他でたくさん CO2 を出してしまうこととか、本当にその点ではですね、総合的にいろんなものを見ながら、島本町として大事な方向を見ていただかないと。本当に貴重なご指摘をいただきました。
委員	CO2 を低減した電力を買えますといいますが、それが実際だと関電になりますよね、関

	<p>電の発電の仕方がどうなのか。全部太陽光発電や再生可能エネルギーを使ってできるとは限らない。そのへんをどう動かしていくのかなど、それも考えないといけない。</p>
議長	<p>本当にそうですね。ありがとうございます。</p>
委員	<p>私も結構、会議があるから調べたんです。友達に言ったら太陽光発電で電磁波が嫌とか、有害物質が処分するときに出るとかあるので、できるできないを見て知ること、色々考えられるから、私はみんなで勉強会をすべきだと思っています。それでないと素人が何を言ったところで、良い方しか見ていなかったり、反対に悪い方しか見てなかったり、トータルで見えていく必要がある。定期的な、それこそ再生エネルギーについて勉強会をいつに開きます。それもボランティアで少しずつでなくて、この審議会のメンバーは絶対。それと自治会の会長は絶対とか。やはり強制的に巻き込んでいかなかったら、善意でやっていたら多分この数値には100年ぐらいかかるのではと思うから、仕組み作りで先ほど言われた勉強会をして欲しい。</p>
議長	<p>そうですね仕組み作りや勉強会ということで。それもぜひ踏まえて最後、ご回答いただきます。次、どうぞ。</p>
委員	<p>色々ありますが、あまり時間ないので、少し言いたいことだけ言いますと、51%削減ということ62ページで先ほど言いましたが、その後、色々な取り組みですね、削減目標達成に向けた取り組みの第5章あたりからずっと来ているのですが、どういう取り組みをしたらどれだけ下がったのかということがやはり目標を作って、なるべくリアルタイムで住民の人とか事業者の方に分かるような仕組みがないと。何も目標のないところでやるのも別にいいのですが、目標に対して近づいていくことは、一つのモチベーションになるので、そういう仕組みですね、先ほどから言われていますが、この審議会自体は年に1回、2回しかないので、それ以外のそういったPDCAを回すような住民の集まりみたいなのを仕組みとして入れてほしいということがあります。</p> <p>それから竹林のことを色々言っていますが、例えば竹炭を作るとか発電とかいうのを、島本町でベンチャーを立ち上げるというようなことで、何か補助ができないのか。そういった島本町で無理だったら別のところとかありますが、例えば高槻のバイオネイチャーエネルギー研究所やっと思いますが、そこが竹林発電していますが、そういったところに島本でやれないのか、ちょっと補助するとかそういう話で、外部のそういうベンチャーとかやっておられる方を誘致するとかですね、そういうことも考えてもいいのかなと思います。</p> <p>それから街の開発をするときに、太陽光パネルが本当にいいのかどうか議論もありますが、開发行為の適正化および環境保全等に関する指導要綱というのも島本あるんですが、その適用範囲を広げるのはどうか。今、例えば一定規模の開発でないと指導要綱ですから、これも法的な規制じゃないんですが、もう少し小規模な開発ですね、そういったこととか、どこかで新築をやるとか、そういうときにもこういった指導要綱の範囲を広げて、省エネ</p>

	<p>タイプの住宅にしてくれとか、そういうことをやっていくというのが一つあるかなと思います。</p> <p>それと結局は太陽光発電、電気自動車にしてもお金の問題がありますので、補助金のことは、これからの話だと思うんですが、その辺りちょっと今後のこととしてあるのかな。島本町 65 歳以上の世帯数が 44%ぐらいです。例えばその後、そのときに大家族だったらいいのですがその年齢で今から家に太陽光パネルを作ろうかなというモチベーションがあるのかどうかということです。例えば補助金があったとしても、そういった高齢化ということも勘案してどういったことができるのかというのがあると思います。</p> <p>それから、この計画の中で、やはりお金というのは島本町で回し、域外流出はあかんということが書いてあるのですが、これも普通の方は何故、域内でお金を回すのがいいのか分からないと思うんです。なんとなくそれがいいかなと思うのですが、そういった説明を少し入れていただいた方がいいかなと思います。</p> <p>それから、一度に全部言いますが、今ウクライナ情勢もあります世界中の軍事関係の色々なことで二酸化炭素の排出というのが、大体 6%ぐらいあるのではないかとされているのです。日本も防衛費が 2 倍になるということで軍事関係というのは、訓練とかも含めて非常に二酸化炭素を排出します。そのことがこの計画には入ってないし、国も入れてない。国は去年 10 月の閣議決定で二酸化炭素温室効果ガスの排出の削減のための計画が閣議決定していますが、その中で自衛隊の防衛備品の運用に伴う排出に関しては特殊なことなので、対象外だと言っています。二酸化炭素は誰が出そうが二酸化炭素なので、例えばそれを国民全体で付加するという。島本町やったら自衛隊のとかがですね、軍事演習の二酸化炭素排出量をおっかぶせてその分も頑張ってみんな削減しようというようにできないのかなと。色々調べたのですが、実際どれぐらいの二酸化炭素を出しているかというデータはあんまりないです。そういう視野もないと何か自分一生懸命やっているけど、片一方でどんどん二酸化炭素を出すということが非常に問題だと思います。</p> <p>先ほど言われましたが、IAEA の報告等によると 8 割が太陽光パネルの製造が中国です。レアメタルで 6 割ぐらい中国です。大体鉱山というのは人権侵害もたくさんあるので、紛争鉱物という形でそういう鉱山から物買ったらあかんというのは、アメリカなどは法律あるんですが、そういうことも勉強会みたいな形でやっていったらいいのかなと、そういうことを立ち上げていったらいいかなと思います。</p> <p>特にこれを推進する体制、仕組みをここの中でしっかり位置づけるということは、他の委員さんも含めて言っていると思うので、その部分だとか、もちろん島本町のことは考えるのですが、もっとグローバルな観点からどうあるべきか、数値の捉え方を島本町として。これについてやはり大阪府、行政というところでも関係してくると思うのですが、それをうまくボトムアップでしっかり数字の見方だとか、捉え方というのを変えていただいたりすることも今後町の役割としてはぜひ、念頭に置いていただきたいと思っています。</p> <p>次、どうでしょうか。</p>
委員	<p>事前に担当者の方と打ち合わせして、この文言の訂正を 2 ヶ所ほどお願いしていますの</p>

	<p>で、それはよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それと私はいち住民として生活するうえにおいて、ごみの分別について簡単にできるものから進めていったらいいのではと思ひます。普通のごみで一つのごみ箱に全部入れるのではなくて、紙ごみだけ横によけて、もう一つ箱のようなものに入れていくというだけでも、資源ごみの回収に役立つわけですから、そういう小さな町民運動、そういったものを PR してやっていく。一つ細かいことと言ひますかね、誰でもちょっとした注意でできることから、身近なことから進めていくのも一つの方法だと思ひます。以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございます。文言の部分の訂正とやっばりまず身近な部分からしっかりやっていき、強調していただくということですね。お願ひします。</p>
委員	<p>今回初めて参加させていただきましたが、島本町さんの審議会、資料を見てこのパブリックコメントもたくさんありまして、本日も活発なご議論をされているということで、素晴らしいことだと私も見ながら思っております。町さん自身もこの実行計画そのものは別に義務規定ではないのですが、ただ努力義務をしっかり果たそうということで、実行計画の区域施策編を作ろうとされていること、素晴らしいことだと思ひますので、ぜひとも頑張っただきたいなと思ひます。</p> <p>行政サイドという形での意見になるかと思ひますが、まずこの実行計画を事前に拝読させていただいたところ、皆さん言われている町らしさというものです。そこはやはり何らかの形で打ち出していくのは大事なかなと。私は大阪府の実行計画の作成に携わらせてもらったこともあって、府らしさは何かというのも色々議論をしていました。府は都市部なので電気、CO2 でますね、その電気をどうしていくか。省エネ今までやってきていますが、エネルギーを使っても CO2 の出ない再生可能エネルギー。今、関電さんだけではなく、我々住民サイドが電気を選んで買うことができるんです。再生可能エネルギー電気のメニューが新電力さんとか用意されていますので、再エネ 100%の電気を使っただけでもそれは CO2 の出ない電気だと。もちろん省エネすること大事なのですが、そういうことをしっかりと我々大阪府なり、もう皆さんにお伝えして、再エネ電気というのがありますよ、皆さんそれ使いましょうということをはっきりと言っただけでいいかなと。今、都市部のそういう電気の CO2 の削減、排出原単位ですが 1kW 当たりの排出原単位をいかに減らしていくか、それを中心に頑張っていますので、そういうことをこの機会に我々もお話させていただいて、町さんとも連携しながら、またこの住民の皆様にもご協力いただきながら、そういう電気を勧めていくことを大阪府としては進めていきたいと考えています。ですので、その方向性を踏まえて実行計画の方も入れて、そういうところで前面に出して、やっただけで我々の大阪府の方向性とも一致してくるのかなと思ひますので、そこはもう少し前面に書いていただいてもいいかなと思ひました。</p> <p>あと次に島本町らしさという面では、先ほどから竹林の話が出ているのかなと思ひました。これは実行計画作るときに地域ごとの課題をどう解決していくかというのを計画に盛り込んで住民とみんな頑張っていきたいというものですので、難しいこと書いてあるかも</p>

委員	<p>れませんが、こういうのに基づいて行政サイドとしては、いろんな今後 8 年から 30 年までの政策を打っていきますので、ここにその「竹が問題だよ、竹林をちゃんとしてかなきゃいけないよ」っていうことを書いていただいて、そしたらどうこうしていかうか、ってその今の段階でどこまで書けるかわかりませんが、課題と方向性としてそういうのを対処していかうと書いていただければ、また議論も出て今後政策ですね、出てくるのかなと。先ほどの竹炭を入れていくとか、今 4%運動、0.4%農地に入れて、そういう竹炭を農地に入れるような活動なんかもありますし。そういうものも色々情報収集して、いかに竹林を再生していくかと思えます。</p> <p>あと大阪府は木材の利用も今色々やってきています。国も森林譲与税の関係で結構地方にお金が回ってきていると思えますので、木材利用森林整備っていうのに国の予算も入ってきていると思えます。木材利用は CO2 吸収にも役立ちますので、そういった面でもう少し書き込まれてもいいのかなと。特に森林面積が多いという話もありましたので、そういったと森林の大切さや、木材の有効活用がいかに CO2 削減に役立つかということを書いていただいてもいいのかなと。そういったのがおそらく島本町さんらしさになってくるのかなと思えますので、それを前面に出すような形の計画に書いていただいたらいいのかなと思いました。</p> <p>あとマニアックな話ですが、51%の削減目標。大阪府は 40%を掲げており、高い数値でいいことだと思います。ただ国が 46%の削減目標で私らは国が出す前に作ったので、40%ですが、その排出係数の数値が 0.25 でなくて、確か 0.38 だったと思えますが、0.38 でやっているの、それを再計算すると 46%以上になり、一応国より上というふうに大阪府は言っているのですが 51%は頑張っって高い数値だと思います。目標を高く持ってやっていただくのはいいと思えますが、ここはぜひ頑張っってやっていただければと思います。</p> <p>ただあんまり無理しないように頑張っていければなというところですよ。</p> <p>最後のページに一応 PDCA の仕組みがここまであったかと思えます。先ほども PDCA をきちんとやっていかないといけないと話ありましたが、ここの進捗管理のところ、3 行で終わっていて前に推進体制ということで、少し書いてるのですが、この進捗管理がどこでどう進捗管理されるのかというのが少し見えないかなと思いましたので、この進捗管理をどこで報告するか、環境審議会に報告するというのであればそのように書いていただいたら、環境審議会とホームページで報告するかという形にやっていただいてもいいと思えますし、そういう形でここに明記をされるのが宜しいかなと。</p> <p>あとは個別の連携のところ、住民・事業者・町との連携ということで、島本町さんにおかれましては環境・未来ネットさん、そういう団体さんがあるようですので、そこでの連携というのを、今日も代表の方が来ていただいていると思えますが、そこでの連携をうまく活用されてはいいかなと。そういうところって何かいろんなセミナーや勉強会等をやられているのでないかなと思うのですが、今あった電気の話や色々な竹林の話等を個別に住民さんがお集まり、ご興味のある方に集まっっていただいて実施してあげたらいいのでないかと思いました。少し長くなりましたが。</p> <p>確かに言われているとおり、竹林、山荒れています。ところが島本町独特のもので島本町</p>
----	--

	<p>の面積のほとんどが私有林なのです。ほかはわりに府有林、国有林があるので、手を入れてくれているのですが、町有林はほとんどわずかです。ほとんどが私有林で、その竹林を整備する場合、要は税金を投入することになります。私有林の竹林を整備するというのは、現状では個人ではできないですから。そういうことになるのだけでも、そういう問題について、理解されなかつたら、いくら言われてもできないです。そこをどう住民が割り切って理解する必要があるということをお分かっていただく必要があります。その辺はどうですか。</p>
委員	<p>そうですね、竹林の問題、私有地の問題、森林の問題は大阪府でも議論されていました。法律も確か改正され、私有地のも一定行政が入るとい話も確か聞いているので、そういった制度を活用されるのもあり得るのかなと思いますし、あとは私有地、山の所有者の方との連携もこれから大事になってくるのかなと。地域独自の問題もあるかもしれませんが、ボランティアで入られてるという話もありますので、その人間関係をうまく持てればですね、もしくは間に町がやっていいですかというような形で介入することによって、「もうわしも山、全然やってないからボランティアで入ってもらっていいよ」みたいな形で、ひょっとしたら新しいネットワークみたいな、竹林を作ったら整備していく方向性なんかを議論することによって出てくるかもしれません。そういうところを我々としては期待したいなど。また、府も森林の部局がごさいますので、私は直接担当でないですが、またご相談いただき、どうしていったらいいか、色々情報を持っていると思いますので、ご支援できるのかと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。今の議論これからにとっても大事だと思うのですが、林野庁の方の色々な枠組みを市町村も含めてある程度、森林の税というような形で配分されて、それは個別の森に別々にというのは難しいのですが、それは一つの大きなまとまりにして、しっかり計画を立てて行政がしっかり関わるということになると、きちんと使えるので、それを上手に使っていくのがこれからすごく大事で。全国の市町村さんも、どうやって使ったらいいか分からないような状態なので、ぜひ島本町がそういう先端的に大阪府さんと連携しながら使っていけるといいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>わかりました、環境譲与税もあるし、それから過去に雇用対策で府が竹林整備やられた、そういうのもあるので島本町独自で。財政的なものもあるでしょうね。</p>
議長	<p>やっぱり資金は大事ですよ。ありがとうございます。 色々な具体的なご指摘、ここに生かせることがたくさんあると思います。今、お答えになりますか。</p>
事務局	<p>議論をたくさんいただきましたが、どうしましょう。最後にまとめさせていただいたほうがいいですか。</p>
議長	<p>お聞きして思ったのは、やはり最後の進捗管理、推進体制をもっと充実させていただい</p>

	<p>て、具体的にここでやっぱり皆さんが一番いわれている、どのようにこれが実行できるのかというところが目に見えていくような形で書いていただくということとですね。やっぱり島本町らしさというところをできるだけ全体に散りばめていただけるよう工夫をしていただくのと、それから 73 ページに将来ビジョンというのがあって、ここは全面、何か一般論的なものでなくて、まさにザ・島本町っていう中身になるように、ちょっとここは書き換えられること、足せることがたくさんあると思うので、できる限り今日出た意見をここに盛り込んでいただくというように対応いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>議長からご指摘いただいたビジョンの部分ですが、少し抽象的な部分ございますので、皆さんからご意見出ています島本らしさというところを中に盛り込めるような形で精査してまいります。あと PDCA の回し方についても同様に島本らしさどのような書き方がいいのか検討してまいります。</p>
議長	<p>それでそのときに未来ネット、既にある組織、それから町とか、それから色々な住民の方が参加しやすいような推進体制がどういうものなのか、できれば目に見えるような形で提示いただけるといいかと思いました。</p>
事務局	<p>はい、わかりました。</p>
議長	<p>では次お願いします。</p>
委員	<p>私はずっと島本に住んでいて、今職場が大阪市にあり、かなり都会のため、自然に触れられておらず、デジタルにずっと触れ続けているような子供達に日々触れている中で、島本の子供達は本当に幸せであると思っています。身近に自然があり意識高い方が多いと思います。現場でもやはり自分達が自然で遊びたいと思ってもどんどん閉鎖されていき、環境問題と逆行しています。それを考えたとき島本町はすごいポテンシャルがあり、島本町が全国の見本になれるポテンシャルを持っていると思っています、やっぱ島本らしさといったら、太陽光パネルをこう並べて「さあ電気自給できたよ」みたいなものよりは、意識をそれぞれ変えていき、今あるものを大切にしていく。自分もいっぱい勉強し、畑始めて、日々、太陽光をあびて育てる作物と触れていたら、それに太陽光パネルつけて日陰作るとかおかしいと思うし、何かああいうふうに、人間も太陽浴びて、何かすくすく育つというのが理想かなと畑をやっていると思います。何か表面的に風邪ひいたらすぐ薬とか、その表面的な対応でなくて本質的なものを私は大事にしているのです。数字を持つと何か本質に行きにくくなると思います。数字出すのは大切やと思いますが、本質も大切にしていくと数字に結びつく可能性もあるので。時間はかかるかもしれないですが、意識をそれぞれに高める。私はマンションに住んでいますが、つけなくてもいい電気がずっとついていて母が消しに回っているのですが、なんか 1 人 1 人の意識が変われば、母もそんな動かなくていいと思いますので、教育や集まる場だとか、島本全員がこのポテンシャルある地域を良くしていくという意識変わるだけでそん</p>

	<p>な表面的なものに頼らなくても本質から攻めていけるのかなと思いますので、やってみて無理だったら仕方ないですが。まずそっちに飛びつくのではなく、何かそれぞれ変わる手段をまず練ってみると意識が変わるのでは。私は生ごみを肥料にしたいと思っています。肥料代がもったいないと思っています。ごみ分別の話もあつたんですが、それを分別することで生ごみが肥料になれば農家も助かるし、教育することで農業の大切さを知っていったら、子供たちのニーズ、ご家庭のニーズが増えたりしていたら農業への意識も変わってくるだろうし、農家へのニーズが増えたら農業もしやすくなるから。意識が増えた節電もそれぞれしていくと電気も節約できるだろうし、水の大切さもそれぞれが知っていけば島本の水を守るためにどうするかとか、水も無駄使いしなくなるだろうし、その手順を追っていき、みんなが協力して意識変わっていったら畑も変わる。増やさないとってなっていくかもしれないし、今急にやったら摩擦が起こるから、徐々にやっていき、オーガニックの大切さも自身が日々食べていて美味しさも感じていますので、そういう健やかに育つ人が徐々に増えていったらいいのかなと。モデル地域になって全国に広がっていくのが理想的かと思っています。</p>
議長	<p>そうですね。自ら実践されている中での言葉なので、そういうことがきちんと伝わっていくと思いますし、本質的なものとか、それから大きな循環として、うまくできるようなことをぜひ町の方でも受け止めていただければと思います。</p>
委員	<p>その道筋がわかったら皆さんも乗っていきやすいと思う。漠然とこうしようとか言われても、じゃあ何するのか、なんか熱がこもらないけど、こうなったらこうなるのだというのが明確にわかっていったら人も動きやすくなるのではないかな。</p>
議長	<p>そうですね。ありがとうございます。</p>
委員	<p>色々、意見出尽くしているようで、それに付け加えてということではないのですが、まず計画案自体は、昨年の1回目の審議会以降いろんな方のご意見聞いて修正されて、私もあの最後の将来ビジョンとか進行管理のところは充実いただけるということなのでそれについては、内容については特段ないんです。やはり一番大事な皆さん言われている実効性、いかに確保するかということで、特にこの温暖化で難しいのは国の総理大臣がトップダウンで言ったから進むというものではなく、ボトムアップなんです。それは国も認識しており、日本の脱炭素ロードマップというのは「地域脱炭素ロードマップ」という言い方を国がされていて、地域ごとにそういう脱炭素を成し遂げて、それを成功事例としてどんどん全国に波及していき、全体として脱炭素達成、カーボンニュートラルという考え方ですね。そういう中で、ここに今日こさせていただいて事前に資料を見たのですが、島本町さんはパブコメの内容がすごいなど。数も多いが、中身が大変前向きなご意見をいっぱいいただいている。このような活発な審議会、私は出たことなく、本当に皆さん島本町に対する愛というか、環境を良くしたいという思いを持っている。やはりそのすごいポテンシャルのある地域だと思うので、ぜひ今回計画はね、これで今回作られるということですけど、これを進めていくにあたって、もう本当</p>

	<p>に何て言うか、規模感的にもね、その面積的にも人口的にも、それから住民の皆さんの意識的にもすごくポテンシャルのある地域だと思うので、ぜひ全国の先例になるようにこの計画の今後進行していただけたらなと。</p> <p>その中で具体的にうちの仕事との関係なのですが、一つはその先行的な成功事例を作るにあたり、先ほどから色々ご提案いただいている個々のプロジェクトですね、やはり熱心な方々が進めていただくことがすごく大事だと思います。あと温暖化というのは、30年50年かけてやっていく必要があるんで、やはり熱心な人が始めたときはプロジェクト結構うまくいくのですが、年数経つうちに段々、しぼんでいくというようなこともあるので、もう一点、町さんの方に今後もご検討いただきたいのは、先ほど委員からご指摘があったと思いますが、やはり子供に対する意識改革、教育みたいなところで、島本町さん確か昨年、国の補助金でCOOL CHOICE 事業で、たしか全ての小学生とかにアプリ作ってクイズラリー等、熱心にやられていた経過はあると思うので、今後、国の補助金がなくなりましたが、何らかの形で子供への環境教育みたいなところで、町民のその意識改革を長く継続してやっていけるような体制、これも計画の最後のところに関わるのかもしれないのですが、そういうところぜひ、取り組んでいただき、その部分であれば、温暖化センターが協力できることもあるかと思いますので、ぜひいいものを作っていただけたらと思います。</p>
議長	<p>ぜひ実行、教育は本当に大事だと思いますので、連携して町としての取り組みを具体的に考えていただければと思います。</p>
委員	<p>昨日書いていて思ったんです。私達のように意識の高いグループ、得があればやる人、条例、規則がないとやらない人の大きく三つに分けられると思っていて、それを最終的に意識の高い人に全部持っていくための流れを作る。お金のことが絡んでいるので、お金がなくてもすぐできること、お金がなくても時間かかること、お金がかかるけどすぐできること、お金も時間もかかることのように、ばらけず、まとまりが必要だと思います。やれることの中で大別みたいなものを見たときに分かるようにしないと、何か1列に並べられたら何をどうしていいかわからないけど、すぐできそうなお金かからないことは、やったらいいのではないですか。お金はかかるけど、すぐできそうなことは議会で審議してもらったらいいのではないですか。先ほどの意識高まるもので言ったら、例えば緑化は絶対これだけ、新築建てるなら木を絶対植える必要があるとか、そういう条例を決めたらいいのではないですか。だから個々のやること、時間とお金等を何か言われているみたいに大別し、最終的に言われたように、本質として人類として、どういう島本町じか、もっと人類愛、地球愛です。どう本質的に人間として生きていくのかということが抜けていたら、息子がいつも言いますが、枝を見て木を見て森を見ずという形になってしまうのです。</p>
議長	<p>そうですね、ありがとうございます。最後に長期的な視点、うまくきちんと整理することの大事さを伝えていただきました。</p> <p>皆さん、大変熱心に色々なことを言っていただいて、私も色々な委員会とか出ている中</p>

	<p>で、本当にこれだけ熱心に議論される場所ということには中々ないなと思っているところなので、ぜひそれを町の方で、さらに活かしていけるような方向で進めていただきたいと思いますが、最後に皆さんの意見を受けとめてのご回答をお願いしたいと思います。</p> <p>ご意見いただきましてありがとうございました。</p> <p>色々、ご意見いただいていますので、まとめられるかどうか分かりませんが、ご意見の中で一番たくさん出てきた竹林整備、竹林というのは適切に間伐することにより、太陽光がきちんと葉に浴びて CO2 の削減に繋がるとか、あとは竹炭への利用ですとか、色々な利用が考えられると思います。バイオマス発電のお話もあったと思いますが、電力にしたときに発電効率が 20%、30%ぐらいしかないということで、太陽光等に比べると現実的に難しいのかなと。あとはバイオマス発電所との連携等も必要になってくるので、果たしてそのようなものが近くにあったとしてもそこが利用できるのか、運ぶときにどうするのか等、色々難しいと思いますが。あと竹炭を利用する等、そういったことは地域経済の発展にも繋がるとは思います、その辺は今後、色々話をしていかなければならないと思いました。</p> <p>あと太陽光発電ですが、農地の上に太陽光を設置したり、開発して太陽光パネルを設置したり。太陽光パネルの設置がどんどん進むことはいいんですが、一方で有害物質を心配され、カドミウムが含まれているとか、生態系に影響を及ぼさないかとか色々なことが考えられると思います。そこは国の方で法改正がされているようで、業者が廃棄するときの費用もあらかじめ金額の中に含んだ状態で取り組みをされていると聞いておりますので、そういったところを町として周知をしっかりと事業者、住民の皆さんにしていかなければならないと考えております。</p> <p>あと PDCA、実行計画をやっていく上での回し方ですね。島本らしさがどういうことなのかこの辺に盛り込んでいくのと、進捗管理をどうしていくのか、そのあたり作った後に具体的な取組を確実に実行していくにあたり、非常に重要な部分だと思いますので、しっかり考えながら、中身の記載や進捗管理を考えていきたいと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。そうしましたら、しっかり受け止めていただき、これがより良くなるということですので、期待しておりますが、今後のスケジュールがどういう形で進めていくのか改めてお聞きします。</p>
事務局	<p>今後につきましては、皆様からご意見、パブリックコメントでのご意見を案の中に落とし込み修正をかけていき、内容を固めてまいりたいと思います。</p> <p>またちょっと委員の皆様、議長にちょっとお示しさせていただくという形になります。</p> <p>その後、内容が固まりましたら、概要版の作成を考えております。100 ページ近くありますのでどこに何が書いているのか、すぐに分かりにくいとことが多々あると思います。住民さんに見ていただいて一目で分かるような概要版を作ってまいりますので、その上で完成しましたら、改めて皆様にご報告させていただく形になると思います。</p>

議長	今後のスケジュールとしてはいかがでしょうか。
事務局	今回、計画策定業務を令和 4 年度予算で事業を行っており、最終的に内容が固まるのは 3 月末になると見込んでおります。
議長	それまでにかかなり密に委員さんとやり取りしていただき、どういう形で概要版が出るのか、どのように修正されるのか。今日、色々、付箋紙をたくさん付けていただいて。これにご意見いただける方もおられると思うので、そういうのを全部ここで十分言えなかったことは、また皆さんの方から直接言っていただきたいと思います。それをいつまでに意見として伝えるのがよいですか。1 週間とかありますか。
事務局	1 週間から 10 日ぐらいでお伝えいただけたらよろしいかと思います。
議長	では 1 週間の間で、今日言い足りないことや何か補足される資料があった場合、ぜひ町の方にお伝えいただき、それを踏まえ修正等をして、それがフィードバックされるのはいつぐらいですか。
事務局	ご意見いただきましたら、それを踏まえ修正をかけていきますので、目安ですが、2 月末にご意見を反映させたものができればと考えています。少し未知数なところがありますので、できるだけ早く取りまとめたいと思います。
議長	やっぱり今日の中で特に大事なのはちゃんと次に繋がる推進体制だとか、これが実行されるためにどういうふうな仕組みができるのか、っていうのがやっぱり明示されて皆さんにお伝えすると、今日皆さんが一生懸命言っていただいたことがちゃんと反映されたな、っていうことになると思うので、そこは特にしっかりお願いしたいなと思います。 また、この審議会、本当に年に 1 回とかになるので進捗管理をどういうふうにするかとか、どういうふうに繋がり、実行のために体制が取れるのかというところをぜひ考えていただきたいです。そしたら私も会長としての任務ができたなって思うので。
事務局	わかりました。
議長	お願いします。 よろしいでしょうか。すいません、もう時間が過ぎています。
委員	時間過ぎて申し訳ないのですが、1 週間以内に色々な意見をまた町にお出しするのですが、色々調べて分からないこと等、あるいはデータがなかなか見つからない、インターネッ

	<p>ト中心ですが、そういったときに、専門的な質問にしても、事務局も別に専門家ではないので、今日せっかく学識の方々とかもおられますので、何かわからないことがあったら、事務局経由で、色々質問とかフレキシブルに答えていただけたらなと思いますのでよろしくお願い致します。</p>
議長	<p>了解いたしました。今日は温暖化に関連して府、それから京都市で関わってらっしゃる方もいらっしゃいますし、色々情報収集しながら、協力体制を深めていけるといいかと思いません。ありがとうございます。</p>
	<p>では私の任はこれでよろしいでしょうか。</p>
	<p>事務局がきちんと取りまとめをして報告してくださるということですので、それを皆さんまた最終確認をし、色々な課題はあると思うのですが、まずこれをしっかり仕上げるということは次に繋がる大事な一歩ですので、限られた期間の中で最大限頑張って良いものにしていただければと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。では事務局にお返ししたいと思います。</p>
議長	<p>その他の案件があるそうです。その他の案件についてご報告いただきます。</p>
事務局	<p>報告事項でございます。公募委員の皆様には今回、事前に紙媒体にて資料をお渡しさせていただいておりますが、令和2年度の環境保全審議会からペーパーレス化の取り組みとして、原則メールで資料を送付させていただいておりますので、次回の環境保全審議会からは電子データで資料の方を可能な限り送付させていただければと考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。事務局からは以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。では私の司会は以上とさせていただきます、事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>深町会長どうもありがとうございました。</p> <p>それではこれを持ちまして、令和4年度第2回島本町環境保全審議会終了させていただきます。皆様大変本日はお忙しい中、また長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。</p>